

大学等名：東京外国語大学

テーマ：テーマV（卒業時における質保証の取組の強化）

東京外国語大学は、3ポリシーに基づき世界の言語・文化・社会に関する教育を実践し、優秀な「多言語グローバル人材」を数多く社会に送り出している。しかしながら学生が学ぶ専門分野には多様であり、修得した言語能力にも差がある。また留学を含む学外での学修履歴は成績証明書などに十分に反映されていなかった。この状況を踏まえ、本事業は、言語力、専門力、行動・発信力のそれぞれに関し、卒業時の達成度を客観的な指標で示し、「多言語グローバル人材ディプロマ・サプリメント」として配布するものである。これは、在学中の学生に対する「多言語グローバル人材ポートフォリオ」の最終形として編集される。在学生は、各自の能力の開発を、本ポートフォリオで確認することができるように整備する。本事業の推進にあたっては、本学の教育に関わる外部有識者からなる「TUFS教育改革会議」を発足させ、十分な意見聴取の上、事業内容に反映させる。

東京外大の教育改革

語学力・専門力の達成度可視化

- H19-24 最適化教育プログラム(特別経費)
- H25-27 e-Learning 教育システムの開発と教育の高度化(特別経費)
- H28 World Language Center発足

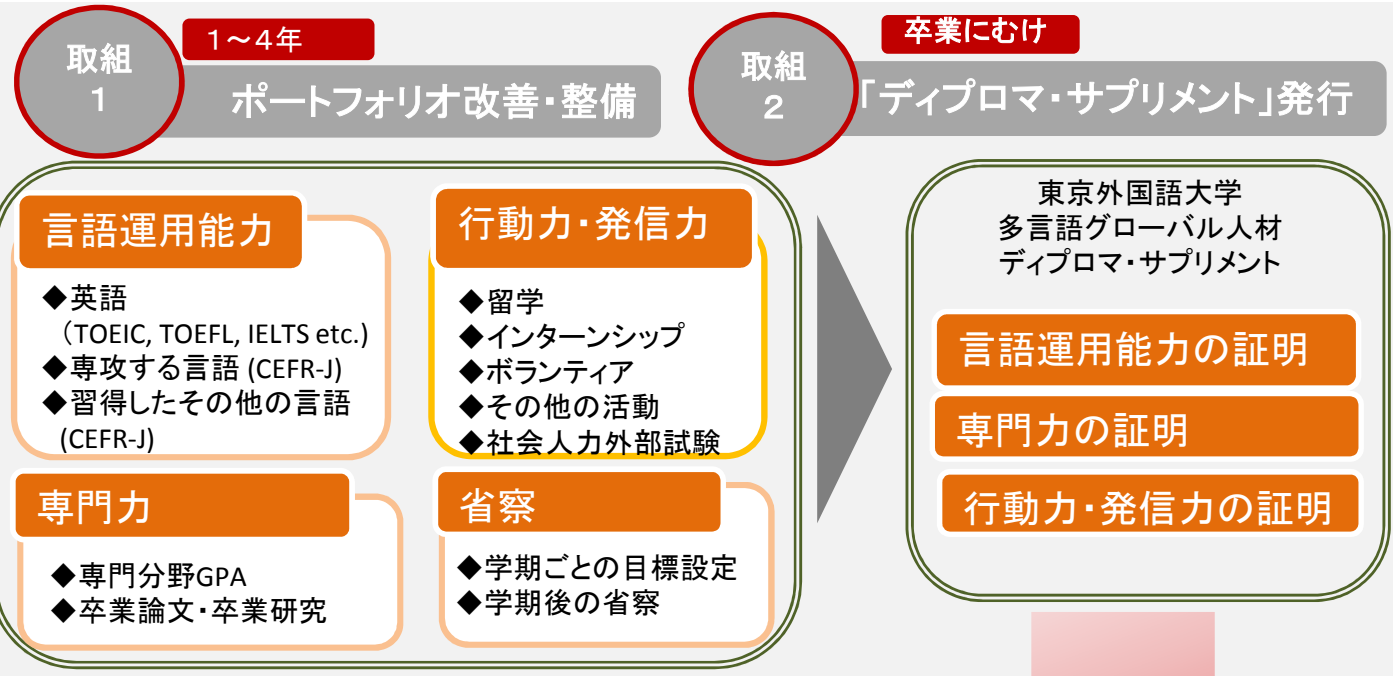
主体的学びと行動力の育成

- H16- 学生ボランティア活動支援の取組み、ボランティア活動スペースVOLASへ
- H26- スーパーグローバル大学創成事業(留学支援)
- H26 留学支援共同利用センター発足
- H27 TUFSクォーター制の導入

ポリシーの見直し

「5つの力」ディプロマ・ポリシー

- ① 高度な言語運用能力
- ② 専攻する地域についての知識・理解
- ③ 現代社会を生きる力
- ④ 専門的な学問分野についての知識・理解
- ⑤ 主体的に考え、行動し、発信する力



【事業の成果】	28年度 (実績値)	31年度 (目標値)
学生の授業外学修時間 (1週間当たり)	6.5時間	14時間
卒業生追跡調査の実施率 (調査回答者数/卒業者数)	20.1%	80%
言語能力の被判定者の割合 <small>※卒業時に、入学時に選択した地域言語の達成度を CEFR-J基準により判定されているものの割合</small>	11.6%	100%

本事業の実施により期待される成果

- ・本学卒業生への「質保証」の実現
- ・3ポリシーを柱にした教育の点検体制構築
- ・本学の「多言語グローバル人材」養成力の向上
- ・多言語の語学力指標の利用支援
- ・学生「質保証」基準の社会への提示